

こども家庭庁入札等監視委員会
令和7年度第1回 議事録概要

開催日及び場所	令和7年10月2日(木)10:00～11:30 こども家庭庁入札室
委員	委員長：石黒 徹（公認会計士） 委 員：三浦 繁樹（弁護士） 委 員：伊藤 耕一郎（公認会計士）
議事	令和6年度下半期の契約に係る審議

令和6年度下半期の契約に係る審議

審議対象期間	令和6年10月1日～令和7年3月31日	
対象案件の説明	○対象期間における契約の全体（競争入札案件24件、随意契約案件7件）について事務局から説明。 ○審議案件抽出等の考え方について、委員長から説明 ・1者応札や落札率が高い一般競争入札について、理由及び改善の余地がないかを確認する。 ・低入札となった案件について、理由及び履行状況を確認する。 ・契約締結日が年度後半になった案件について、理由及び改善の余地がないかを確認する。 ・緊急随契となった背景について確認する。 各案件におけるそれぞれの抽出理由については以下のとおり。	
一般競争入札 （総合評価落札方式）	（関心事項） ・開札の結果、予定価格とかなり近い価格での落札となった理由は	契約件名：こどもデータ連携についての調査研究（令和6年度） 契約相手：EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 契約金額：31,900,000円 契約日：令和6年10月16日 担当部局：長官官房参事官（総合政策担当）EBPM推進室
一般競争入札	（関心事項） ・1者応札となった理由は ・低入札となった理由は	契約件名：令和6年度こども家庭庁ウェブサイトアクセシビリティの検証・改善 契約相手：株式会社ANNAI 契約金額：3,289,000円 契約日：令和6年12月23日 担当部局：長官官房総務課 広報室
一般競争入札 （総合評価落札方式）	（関心事項） ・1者応札となった理由は ・契約締結日が年度後半となった理由は	契約件名：こどもの安全・安心なインターネット利用に係る広報・啓発業務 契約相手：株式会社JTBコミュニケーションデザイン 契約金額：4,922,500円 契約日：令和7年2月26日 担当部局：成育局安全対策課
随意契約 （緊急随契）	（関心事項） ・緊急随契となった理由は ・変更後に大幅な増額となった理由は	契約件名：旧優生保護法補償金に係る周知・広報等業務一式 契約相手：株式会社読売エージェンシー 契約金額：（当初契約）67,215,280円 （変更契約後）364,215,280円 契約日：令和6年12月4日 変更契約日：令和6年12月26日 担当部局：成育局母子保健課
委員からの意見・質問に対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	各審査対象案件の審査にて申し上げた個別の事項に加え、省庁全体に関する事項として、調達業務に関する引継ぎの不備が起こらないような体制づくりが必要である。	
その他記載事項		

質問（※・意見）	回答
抽出番号1：こどもデータ連携についての調査研究（令和6年度）	
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度から継続している事業なのか。 ・前年度の事業は、どこが受注したのか。 ・（同じ業者ということは）引き継ぐことが重要なのか。 ・参考見積は、何者からとったのか。 ・予定価格の設定方法について。 ・参考見積を依頼する業者はどのように決まるのか ・ガイドラインの策定に際し、業務を外部委託する、しないの基準はあるのか。 ・成果物の評価は如何か。 ・入札参加資格の等級を変えることは可能か。 <p>意見①：参考見積もりを取る際、幅広い業者を選定することにより、参考価格に幅が出てくることとなるため、検討されたい。</p> <p>意見②：今後、幅広い規模の業者（中小規模も参加可能な）が入札に参加できる環境の構築が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度にガイドラインの素案を策定しており、継続しているテーマである。 ・同じ業者である。 ・引き継ぐというより、前年度の課題を踏まえた提案をできるため、技術点が高くなる。 ・参考見積は、2者からとっている。 ・物品購入等であれば市場調査を行って算出が可能であるが、役務に係る予定価格の設定については、今後の課題として検討する。 ・委託業務を担当する部局の判断としている。今後は、入札資格の等級が異なる業者から幅広く取得する運用とする等、検討している。 ・具体的な基準はない。 ・自治体でも既に活用できており、金額に見合った内容になっている。 ・必要に応じて等級を幅広く設定することは可能。
抽出番号2：令和6年度こども家庭庁ウェブサイトアクセシビリティの検証・改善	
<ul style="list-style-type: none"> ・1者応札となった理由は何か。 ・低入札となった理由はなぜか。 ・低入札の考え方とは。 ・300万で事業実施した結果はどうだったか。 ・予定価格が高すぎる印象がある。WEBページの改修は数百万程度で可能では無いのか。 <p>意見①：入札事務に係る引継ぎ体制が十分に整えられていない。省庁全体として、入札業務に関わらず、改善が必要である。</p> <p>意見②：参考見積の取り方を工夫されたい。価格面に対する民間事業者の肌感覚・相場観を官側の職員が理解できるようになれば、効率的な運用になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受注要件、応札要件が厳しかったと考える。ただし、応札のなかった2者から質問があったことから、興味はある程度あったものと思われる。 ・事業を年度当初から始められず、4か月しか契約期間を設けられなかった。結果、4か月の契約期間における金額での入札となった。1年間の事業実施で予算計上しているため、結果低入札となった。 ・設定金額を下回った時に、低入札価格調査として、履行できる金額なのかを判断する。 ・対応には問題なかった。
抽出番号3：こどもの安全・安心なインターネット利用に係る広報・啓発業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・1者応札となった理由は何か。 ・調達時期が遅くなった理由は何か。 ・参考見積は何者から取得したのか。 ・成果物はどうだったのか。 ・記事のレイアウト、著作権処理及び掲載料の費用も含んでいるのか。 ・年度末に近い時期であるが、調達を行う必要はあったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度後半の調達となり、1か月程度の契約期間しか確保できず、技術的に敬遠されたと考える。 ・令和6年12月に犯罪対策閣僚会議にて「いわゆる「闇バイト」による強盗事件等から国民の生命・財産を守るための緊急対策」が策定され、早期に対策を行う必要があったため、調達時期が年度後半になったもの。 ・2者から取得している。 ・4つの媒体に記事を掲載することとしており、KPIとしてペー

<p><u>意見①：予定価格の積算としてページビュー単価を目安として導入することも検討されたい。</u></p> <p><u>意見②：KPIの中に具体的なページビュー総数及び単価を明示すればよかったのではないか。受注側も効率的に広報できる媒体を選択することとなるため、効率化が図られる。</u></p> <p><u>意見③：広報等の業務については、こども家庭庁の過去の事例を活用することで、ページビュー単価の相場感も把握できると考える。</u></p>	<p>ジビュース数を掲げたところ、いずれも100%を超えて達成できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。 ・令和6年12月の犯罪対策閣僚会議にて早期の対応を求められていたため、必要であった。一方、質の担保のため、総合評価落札方式による調達を行った。
<p>抽出番号4：旧優生保護法補償金等に係る周知・広報等業務一式</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・変更契約を結んだ理由は何か。 ・変更前の契約ではどのような業務を行う予定であったのか。 ・新聞の謝罪広告のみでこの金額になるのか。 ・各媒体の掲載内容はどのようなものか。 ・裁判の結果を受けて、広告を行うこととなったのか。 ・受注者について、機関紙への掲載に係る提案が今回あったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に法律が公布され、1月17日の法施行までに広報を行う必要が生じた。しかし、当初予算では新聞の広告を行うことができず、補正予算で対応する必要があった。補正予算の成立が12月であったため、通常の手続きで調達を行うと、周知・広報を行う必要のある1月17日までに間に合わないため、12月4日付けで契約していた読売エージェンシーと変更契約（緊急随契）を行うこととした。 ・TVCM、ラジオCM、インターネット広告、ポスター・リーフレットの印刷、バスのポスター広告及び駅のデジタルサイネージでの広告を委託していた。 ・新聞の広告費用が高く、加えて、謝罪記事の場合、費用が割り増しとなるため、このような金額となる。 ・新聞は謝罪広告、それ以外の媒体は、謝罪も含むが、法律の施行及びその内容について掲載を行っている。 ・そのとおり。裁判の結果を受けて創設された新制度の広告を行った。 ・機関紙への掲載に係る提案は、今回の委託業務ではなく、過去の受託業務の際に提案があったもの。今回の業務の受託先として、そういった過去の経緯を評価したもの。

※委員からの意見については該当がある場合のみ記載することとする。